

## 当院で実施可能な先進医療（2023年4月1日現在）

### 《先進医療とは》

厚生労働大臣が認める高度な医療技術や治療法のうち、その有用性や安全性が実証されれば、いずれ公的医療保険の対象となり保険診療として普及するであろうと期待されているものです。費用は全額自己負担（自由診療）ですが保険診療との併用が認められています。

（金額は全て非課税）

技術目的	先進医療技術名/金額	内容
良好な精子を選別するため	PICSI	技術の概要
		ヒアルロン酸を含有する培地を用いて、成熟精子の選択を行う技術
	ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術 金額：23,000円	適応症
		不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患者に係るものに限る）  対象：顕微授精を受ける人で反復着床不全、反復流産を認める場合
	IMSI	技術の概要
		強拡大の顕微鏡を用いて、成熟精子の選択を行う技術
	強拡大顕微鏡を用いた形態学的精子選択術 金額：12,000円	適応症
		不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものに限る） <初回から実施可能>
	ZyMöt	技術の概要
専用のプレート（ZyMötスパームセパレーター）を用いて、良好運動精子を選別回収する方法		
適応症		
膜構造を用いた生理学的精子選択術 金額：25,000円	適応症	
	不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患者に限る）	
胚の发育環境を改善し、良い胚を作るため	タイムラプス	技術の概要
		培養器に内蔵されたカメラによって、胚培養中の胚を一定間隔で自動撮影し、培養器から取り出すことなく正確な胚の評価が可能となる技術。
	タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養 金額：25,000円	適応症
		不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものに限る） <初回から実施可能>  対象：不妊症患者。ART治療全員対象（妊娠率の向上目的）

技術目的	先進医療技術名/金額	内容
子宮内の着床環境を改善するため(検査)	子宮内細菌叢検査 (EMMA/ALICE)	技術の概要
	子宮内細菌叢検査	子宮内の細菌叢が正常であるのか、異常であるのか、またその菌の種類 の組成を判断する検査
	金額：56,000円 《再検査の場合》 33,000円	適応症 慢性子宮内膜炎が疑われるもの<初回から実施可能> 対象：反復着床不全、反復流産、子宮鏡検査で 慢性子宮内膜炎を疑う症例
	子宮内膜受容能検査 (ERA)	技術の概要
	子宮内膜受容能検査	子宮内膜を採取し、次世代シーケンサーを用いて遺伝子の発現を解析し、 内膜組織が着床に適した状態であるのかを評価する検査
	金額：125,000円	適応症 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効である ものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患者に 係るものに限る） 対象：反復着床不全
	Endome Trio 検査	①EMMA/ALICE検査と②ERA検査のセット検査
金額：137,500円	※①と②を合計すると181,000円となるが セットで検査をすることで料金負担を軽減	
子宮内の着床環境を改善するため	SEET法	技術の概要
	子宮内膜刺激術	胚培養液を胚移植数日前に子宮に注入し、受精卵の着床に適した環境を 作り出す技術
	金額：35,000円	適応症 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効である ものに限る） 対象：胚盤胞移植を受ける不妊症患者全員 （妊娠率の向上目的）
	子宮内膜スクラッチ (子宮内膜擦過術)	技術の概要
	子宮内膜擦過術	胚移植を行う予定の前周期に子宮内膜のスクラッチ（局所内膜損傷を 与える）を行い、翌周期に胚移植を行う技術
	金額：27,000円	適応症 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊症又は一般不妊治療が無効 であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患 者に係るものに限る） 対象：反復着床不全
	二段階胚移植法	技術の概要
金額：50,000円	先行して初期胚（分割期胚）を移植し、後日、継続培養を行った別の胚 盤胞を移植する技術 適応症 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊症又は一般不妊治療が無効 であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患 者（子宮内膜刺激術が実施されたものに限る）に係るものに限る） 対象：反復着床不全（ただし、SEET法：子宮内膜刺激術を1回以上実 施している必要がある）	